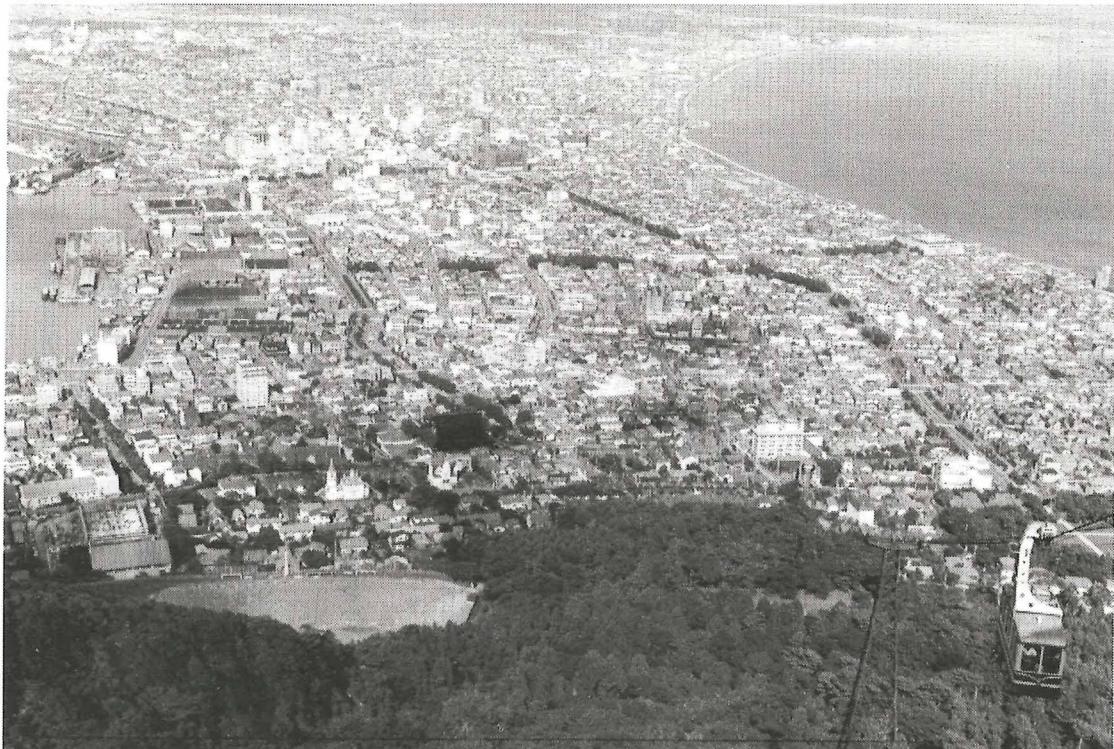


いなづま

題字 小寺 寛一

発行所 函館地方電気工事協同組合
 編集総務部
 住所 函館市日乃出町7番22号
 印刷所 畠山印刷



就任ご挨拶

北海道電力株式会社函館支店

支店長 金子 寛



残暑厳しい今日この頃でございますが、組合員の皆様方にはご健勝にて、ご活躍のことと心からお喜び申し上げます。

私の、函館支店勤務は、最初送電課長、次に支店次長、今回の支店長と三度目

ということでお馴じみも深く、何かしら生れ故郷へ帰つたような安らぎを覚えます。しかし、当社が直面している厳しい経営環境を考えますと、責任の重大さを痛感しております。

すでに皆様ご承知のとおり、当社は去る七月十三日料金改訂を申請しました。

全店をあげ経営の効率化・合理化に努めてきましたが、相次ぐ石油や石炭価格の値上がりによる燃料費の著しい増加と、資本費の増嵩などにより電力原価が高騰したため、厳しい経済情勢下ですが、やむを得ず必要最小限の料金改訂をお願いしたものです。なにとぞ、当社の事情をご覧察下さいまして、ご理解、ご協力を賜わりますようお願いいたします。

又、八月二十三日、道南地方を直撃した十五号台風の際は、荒天候にもかかわらず、皆様方のご協力をいたぎ、復旧作業も迅速に完了し、最小限の被害にいた止めることができました。この紙上を借りまして心から厚くお礼申し上げます。

最後になりましたが、皆様方のご健康と、ますますのご発展をお祈りいたし、私のご挨拶といたします。

役員会だより

第九回役員会	五六・一・二八
一、慶弔報告	(一)はやし商会(代表者木村勝美)――八雲支部
二、貸付報告	(二)角光友電気工業所(代表者中畠寛三)――北支部
三、各支部・部会報告並提案事項	(三)日成電気工業(代表者成田一雄)――北支部
四社 一四〇万円	(四)司電気(代表者氣屋村憲司)――西支部
五、永年勤続者表彰式	
六、新年会開催	
七、道工業組合総代会について	
八、札幌通産局による電気工事業法立入検査について	
九、大同生命保険について	
十、新規加入申込みについて	
十一、道工業組合総代会について	
十二、新規加入申込みについて	
十三、新規加入申込みについて	
十四、新規加入申込みについて	
十五、新規加入申込みについて	
十六、新規加入申込みについて	
十七、新規加入申込みについて	
十八、新規加入申込みについて	
十九、新規加入申込みについて	
二十、新規加入申込みについて	
廿一、新規加入申込みについて	
廿二、新規加入申込みについて	
廿三、新規加入申込みについて	
廿四、新規加入申込みについて	
廿五、新規加入申込みについて	

一、慶弔報告	五・六・一・一七
二、貸付報告	
三社 一五〇万円	
四、新年宴会の報告	
五、各支部・部会報告並提案事項	
六、慶弔報告	
七、一般転貸の貸付利息について	
八、会議および講習会等の日程について	
九、共同保守管理業務について	
十、新年宴会について	
十一、需要家サービス訪問の実施	
十二、漏電しや断器取付普及の推進	
十三、経年劣化電気設備の更新工事の推進	
十四、電気設備安全運動について	
十五、新年会について	
十六、道工業組合総代会について	
十七、新規加入申込みについて	
十八、新規加入申込みについて	
十九、新規加入申込みについて	
二十、新規加入申込みについて	
廿一、新規加入申込みについて	
廿二、新規加入申込みについて	
廿三、新規加入申込みについて	
廿四、新規加入申込みについて	
廿五、新規加入申込みについて	

組合行事

1月5日	組合御用始め
日時 56年3月4日 午前10時より	
場所 札幌協組会議室 (管委員会委員長)	
講師 上杉一夫氏(全日電工連常務理事、技術経営)	
二、貸付報告	
三社 一五〇万円	
四、新年宴会の報告	
五、各支部・部会報告並提案事項	
六、慶弔報告	
七、東芝換気扇の価格改正について	
八、引込工事・計器工事業者申込みについて	
九、訓練校訓練生の募集について	
十、新規加入申込者について審議承認した。	
十一、新規加入申込者について審議承認した。	
十二、新規加入申込者について審議承認した。	
十三、新規加入申込者について審議承認した。	
十四、新規加入申込者について審議承認した。	
十五、新規加入申込者について審議承認した。	
十六、新規加入申込者について審議承認した。	
十七、新規加入申込者について審議承認した。	
十八、新規加入申込者について審議承認した。	
十九、新規加入申込者について審議承認した。	
二十、新規加入申込者について審議承認した。	
廿一、『いなづま』発刊五十号記念座談会	
廿二、東支部対抗技能競技大会審査委員会	
廿三、中渡島支部会議兼新年会(於丸仙旅館)	
廿四、第四回支部対抗技能競技大会(於市職業訓練センター)	
廿五、北見協組創立三十周年記念式典に大倉理事長出席(於温根湯温泉)	

26日	北見協組創立三十周年記念式典に大倉理事長出席(於温根湯温泉)
21日	北見協組創立三十周年記念式典に大倉理事長出席(於温根湯温泉)
22日	北見協組創立三十周年記念式典に大倉理事長出席(於温根湯温泉)
23日	北見協組創立三十周年記念式典に大倉理事長出席(於温根湯温泉)
24日	北見協組創立三十周年記念式典に大倉理事長出席(於温根湯温泉)
25日	北見協組創立三十周年記念式典に大倉理事長出席(於温根湯温泉)

(二)ボランティア活動として「憩の家」の身障者休憩室の配線点検を実施した。

(二)高瀬電気商会代表者ご母堂死去

二、貸付報告 一社 三五万円

三、道工業組合総代会について

四、共同保守管理業務の実施が決定した。

五、新規加入申込みについて

六、他管内における高压受電設備工事の手数料について

七、経営講習会の報告

八、審議の結果加入を承認した。

九、引込資材業者持制について

十、新規加入申込みについて

十一、新規加入申込みについて

十二、新規加入申込みについて

十三、新規加入申込みについて

十四、新規加入申込みについて

十五、新規加入申込みについて

十六、新規加入申込みについて

十七、新規加入申込みについて

十八、新規加入申込みについて

十九、新規加入申込みについて

二十、新規加入申込みについて

廿一、新規加入申込みについて

廿二、新規加入申込みについて

廿三、新規加入申込みについて

廿四、新規加入申込みについて

廿五、新規加入申込みについて

廿六、新規加入申込みについて

廿七、新規加入申込みについて

廿八、新規加入申込みについて

廿九、新規加入申込みについて

三十、新規加入申込みについて

三十一、新規加入申込みについて

三十二、新規加入申込みについて

三十三、新規加入申込みについて

三十四、新規加入申込みについて

三十五、新規加入申込みについて

28日	組合新年宴会（於ホテル函館ロイヤル）
31日	いなづま編集会議
2月 3日	第三十回北工連絡会
5日	厚生年金基金役員会に大倉理事長出席 （於札幌市）
10日	赤川支部会議
20日	通産局による業法立入検査実施（八件）
19日	北支部会議
14日	訓練校技能照査（学科）
13日	訓練校指導員会議
12日	第十二回役員会
18日	西支部会議
全日	訓練校技能照査（実技）
19日	東支部会議
20日	中渡島支部会議
24日	NHK受信システム講習会
25日	道工業組合技術・経営委員会に吉田副理事長出席
26日	道工業組合総代会に大倉理事長ほか理事八名出席（於札幌市）
3月 4日	道工業組合経営講習会に大倉理事長ほか理事三名出席（於札幌市）
5日	函館職安雇用対策協議会に坂本事務局長出席（於函館職安）
6日	中支部会議
10日	第一回役員会
11日	東支部会議
12日	北支部研修旅行（於洞爺湖）
13日	赤川支部会議兼新年会（於雅叙園）
14日	全道技能競技大会審査委員会に吉田、吉岡委員出席（於苦小牧市）
15日	道工業組合技術・経営委員会に吉田副理事長出席

21日	中渡島支部会議
25日	函館技能訓練協会役員会に平井副校長出席 （於市訓練センター）
31日	小規模企業振興委員会に坂本事務局長出席 （於函館商工会議所）
4月 7日	道工業組合役員会に大倉理事長出席
8日	道工業組合対札幌通産局懇談会に大倉理事長出席
10日	訓練校第十七期生入学式（於市訓練センター）
16日	江差支部会議
17日	第一回役員会
18日	対北電打合会議・懇親会
19日	八雲支部総会（於銀婚湯）
21日	総務委員会
22日	全日電工連災害互助会に大倉理事長出席
23日	（於東京都）道工業組合対札幌通産局および北電本店打ち合会議に大倉理事長および吉田副理事長出席（於札幌市）
24日	中渡島支部・西支部会議
27日	訓練校第十五期生卒業式（於組合）
28日	定期健康診断・日本赤十字献血（別掲）
29日	小規模企業振興委員会に坂本事務局長出席 （於商工会議所）
5月 7日	渡島地方技能訓練協会理事会に平井副校長出席（於市訓練センター）
全日	渡島地方技能訓練協会総会に平井副校長出席（於市訓練センター）
9日	中渡島支部会議兼觀桜会（於入川）
10日	道工業組合事業委員会に大倉理事長出席
11日	赤川支部会議
12日	道工業組合事業委員会に大倉理事長出席
13日	（於札幌市）
14日	全道電気工事技能競技大会に参加（於苦小牧市）
15日	牧市）別掲
18日	対通産局・北電・計器工業・保安協会との

子メータ打合会議に大倉理事長ほか理事五名出席（於北電）
道工業組合役員会・委員会に大倉理事長
吉田副理事長出席（於札幌市）
第三十三回通常総代会（別掲）
臨時役員会
中渡島支部会議
道南職業訓練校長事務長会議に平井副校長、佐藤職員出席（於札幌市）
（於商工会議所）
道工業組合役員会に坂本事務局長出席



通常総代会

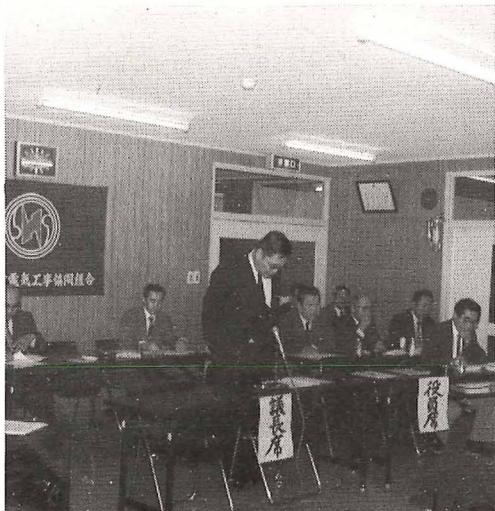
五月二十八日第33回通常総代会は組合会議室に於いて午後一時三十分より開催された。

出席総代数 五四名、委任状一七名計 七一名で本

総代会の成立宣言のあと、大倉理事長のあいさつは、『低迷している経済環境の中で電気工事業界も工事量の低下、過当競争による低価格受託の実情など厳しい現実が相次いでいるが、業界は現状を直視して協調の実を上げる様努力せねばならぬ、組合も新規の協同事業の一環として『共同保守管理業務』の事業を今年度の目玉として強力に推進したいので、組合員各位のご協力を期待する』と結び、議事に入った。

恒例の議長選出は理事者側へ一任との声で、議長に竹田幹雄氏、副議長に佐藤征次氏が選出されて議案審議に移った。

第一号議案の事業報告書の中で本年度の脱退者が十社にのぼった事が注目された外は決算書については特質すべき質疑応答もなく承認された。



第二号議案の事業計画案では役員会の中の委員会に於ける担当部所や事業案を明確に記載したので、これ又少数意見の質問がみられた。予算案については昨年に引き現下の経済情勢にてらして商品利益や雑収入が前年度より落ち込みが予想されるため、予算上の収支の辻褄は合わせたものの事実上の赤字予算案となり活発な意見交換となつたが、組合員の積極的な組合利用（商品利益向上）と通常経費の節減につとめると云うことでの予算案は承認された。

第三号議案は総代定数の説明のあと承認。統いてその他の項に移り組合加入規定の改訂案の説明に入った。

主として保証人の資格やその責任限界などの問題に質疑が集中したが、これも原案通り承認され役員会にて正式決定をまづばかりとなつた。

以上をもつて第33回総代会は午後四時三〇分無事終了解散した。

脱退者名簿

§ § § § § §

一、株荒井組（代表者荒井孝一）——中支部
一、長尾電気商会（代表者長尾竹之進）——西支部
一、株デンキの加野井（代表者加野井正之）——西支部
一、鶴谷電気工業所（代表者鶴谷了悦）——赤川支部
一、南木電気工業所（代表者松木三郎）——東支部
一、佐藤電工舎（代表者佐藤勝）——中渡島支部
一、室沢電気商会（代表者室沢タニ）——中支部
一、川口電気（代表者川口素弘）——赤川支部
一、土屋電気工事店（代表者土屋友和）——東支部
一、石龜電工商会（代表者石龜政雄）——赤川支部
一、川口電気（代表者川口素弘）——西支部

組合員の異動変更

組織・代表者・住所の変更

(旧)

一、(株)弘電社 支社長 小川昭治	一、(新) （新）
一、北斗電気 函館市若松町一六一六	支社長 猪股貴一
一、新生電業 函館市営業所 當業所長 日向貞男	函館市豊川町七一三〇 當業所長 新宅健蔵
一、(新)日本電業 函館市上野町 一三三一	
一、タマツ電気工業 函館市若松町一六一六	
一、(新)澤田電工舎 函館市鍛冶一丁目 函館市鍛冶二丁目 函館市湯の浜町五一八	
一、正栄電気 函館市鍛冶一丁目 函館市鍛冶町一一二三 函館市鍛冶町一一一八	
一、中島電気 函館市鍛冶町 函館市鍛冶町 一〇一一八	
一、中島電気 函館市鍛冶町 函館市鍛冶町 一一一八	

一、稻村電気工業所（代表者稻村博久）——福島支部
以上十一名が脱退しました。
(昭和五十六年三月三十一日脱退)

一、南川村電気工業所
代表者 川村俊郎
函館市中道一丁目

二九一一

一七一一

電話(036)5519777

(自)ユタカ電機工業所

代表者 川村重次郎
函館市富岡町二丁目

一、ユタカ電機

函館市市場町

一九一三

函館市高盛町三一〇

追悼記

故沢谷長太郎氏の御

冥福を祈り、ここに追
悼記を書き、生前の姿
を偲びたいと思います。『沢長さん』の愛称で
知られた故人は、大正

十一年五月函館水電会

社に入社以来、昭和二十九年六月北海道電力株式会社
を停年退職するまで、三十五年間電気供給会社に勤務
されておりました。その後昭和三十年電気工事店を設立、当組合に加入
し、二十五年間を請負工事に専念され、実に六十年の
間電気と共に生きてきた偉大なる先輩であります。この間、優良電気工事店として数多くの表彰を受け
又電気保安功労者として札幌通産局長を受け、更に昨
年は八十才以上電気関係功労者として表彰を受け、我
々組合員の範とするところであります。組合に加入してからは、理事として八年間、組合發
展のために務められ、後輩のよき指導者として組合員
一同相認めるものであります。『沢長さん』は、愛妻家でも知られた人であります
た。昭和四十四年十月、結婚五十年の金婚式を亀田八
幡宮で盛大に行ない、数多くの方々から祝福を受け
れましたが、昨年二月最愛の奥様を亡くされてからは
氣丈な『沢長さん』も気が弱くなり、『一周忌が済む
までは』と好きな酒も止めおりました。

- 一、中野電気商会
- 茅部郡鹿部村字宮浜
- 一、恵山電気商会
- 茅部郡鹿部村字宮浜
- 一、高瀬電気商会
- 茅部郡森町字尾白内
- 一、半沢電気商会
- 茅部郡森町字尾白内
- 一、イナミ電気工業
- 稻見電気工業

お願い

移転又は住居表示の変更等があつた場合、電気工事
業法上の手続および北電ならびに道工業組合等関係
先への変更手続が必要ですので、お忘れなく組合事
務局にご一報下さい。



去る四月末病床に臥して、専心療養につとめておら
れましたが、薬石効なく遂に六月十六日帰らぬ人とな
られました。

これから花咲く四十五才にして生涯を閉じられま
したが、氏の組合並びに業界に残された業績は、不滅の
道あるべとなり、私共を激励し、もって業界の発展と
なることを信ずるものであります。

『沢長さん』、貴方が残した数多くの御教訓は、必ずや我々後輩が守り又語りつたえて、末永く貴方の功績をたたえるものであります。
『沢長さん』、ご苦勞様でした。御冥福を心よりお祈りしつつこの記を終ります。

『沢長さん』、ご苦勞様でした。御冥福を心よりお

祈ります。

故熊谷藤寿雄氏は、昨秋より病床にあり専
心療養に努めて居りましたが、その効なく過
ぐる三月二日、ご逝去されました。

故熊谷氏は、昭和十年五月十日青函トンネルの町、
福島町に生まれました。

昭和二十七年四月に、北海道電力株式会社福島営業
所に入社されましたが、昭和三十年五月将来の電気工
事業者を目指して、当時福島町に本社のありました石
島電気株式会社に入社いたしました。

以来、外線、内線の両分野にわたって従事し、昭和
三十八年には電気工事士の資格を取得、昭和四十四年
九月に熊谷電気工業を開設して今日に至っております。
これから花咲く四十五才にして生涯を閉じられま
したが、氏の組合並びに業界に残された業績は、不滅の
道あるべとなり、私共を激励し、もって業界の発展と
なることを信ずるものであります。

新加入組合員の紹介

昭和五十六年度新加入の四名の方を
ご紹介いたします。

(加入月日は昭和五十六年四月一日)

在籍組合員数 二四八名



(有)光友電気工業所
中　畑　寛　三

大正十三年十月十六日
函館市港町一丁目一九一
電話 四一八四〇一

昭和五十二年四月㈱函東電気を経て、昭和五十五年
四月独立開業

日成電気工事
成　田　一　雄



昭和二十七年十月十日生
函館市富岡町二丁目
六二一ー二一
電話 四五一三七〇〇



(有)はやし商会
木　村　勝　美

昭和二十四年四月十日生
山越郡長万部町字国縫
一七一ー五六
電話(030)五一二〇五〇

昭和四十年四月東北電気工事㈱、昭和四十五年六月
東光電気工事、昭和四十七年一月㈲岩越電機商會を経
て、昭和五十四年独立開業

司電気工事店

氣　屋　村　憲　司

昭和四十五年四月共栄電気工業㈱を経て、昭和五十
五年七月独立開業



昭和二十二年一月二日生
函館市弁天町一一一
電話 二三一七三四二
昭和四十年四月北斗電気㈱、昭和四十年四月協信
電気工業㈱函館支店を経て、昭和五十年三月独立開業

卒業式・修了式

四月二十四日午後一時より組合会議室に於いて、渡

訓練校だより

◎入学式

函館電気高等職業訓練校の入学式は、去る四月十日
午後六時より函館市訓練センターで行なわれ、十三名
が入校、電気工事士資格取得を目指して、毎日訓練に
励んでいます。

氏　名	勤　務　先
塚　田　喜代春	石　橋　電　氣　工　事
堀　田　紀　夫	春　日　電　機　㈱
林　武　美	塚　北　弘　電　社　函　支
黄　木　三　男	タ　マ　ツ　電　機　工　業　㈱
高　橋　克　樹	〃
池　田　昌　義	日　栄　電　氣
坂　本　浩　治	(有)本庄電気工業所

昭和55年度卒業生名簿

(第15期生)

島支庁長（代理）、函館市長（代理）、北電営業所長
（代理）等来賓及び卒業生の事業主ならびに組合役員
・訓練校指導員の出席を得て挙行された。
本年度第十五期生卒業生は九名で、卒業証書、電気
工事士免状を手渡され、二年間の苦労を思い出すかの
ようになつかりと手に握りしめていた。
卒業証書、電気工事士免状のほか、優秀賞・努力賞
皆勤賞に加え、数々の記念品も授与され、来賓祝辞の
あと卒業生代表五十嵐照夫君（春日電機㈱勤務）が謝
辞をのべ、卒業式を閉じた。
その後、恒例の茶話会は出席者全員がジユース、コ
ーラ等で乾杯、約一時間に亘つて賑々しく行なわれ、
最後に卒業生の記念撮影で幕を閉じた。
訓練校関係者の熱意と努力に敬意を表し、卒業生の
今後の活躍を大いに期待します。

隨筆

古人の名言

平沼智子

最初のボタンを掛け違えたら最後のボタンは掛けられぬ

ゲーテ

最近特に業界が不振で受注の落ち込みで苦しんで居るのは私だけであるまい。

「電気屋になつた」と云う最初のボタンを掛け間違えた為に、掛けられなくなつたと思う最後のボタンをどう仕入したらしいのか考えることがある。スタートの間違いほど恐ろしいものはない。

倒産に追込まれた会社や事業所の大半は判断の甘さが原因である。サラ金・融手・一時のチョイ借りなど最初で踏み止まって何と云われようとも、安易な道を選ぶべきではなかつた筈だ。最近の倒産を見ると必ずと云つていいほど融手が顔をのぞかせている。最初のボタンが如何に大事か心すべき事である。

財布が空になつてからやりくりではすでに遅い
セネカ

老子

中国、周代の哲学者。道教の祖。

説明を要しない。全くその通りである。にもかかわらず古人の名言として、史上に今日に至るも残つてゐる云うのは、その通りの事が年々歳々、洋の東西を問わずくりかえされていると云う事であろう。

今日の支払を今日用意する為にかけずり廻るなどはセネカの名言通りすでに遅いのである。そんなに世間は甘くない。高度成長の時代と違い今後ますますきびしい世の中となる。財布が空にならない前にじっくり

とやりくりを考えるべきである。

人の意見は聞くべく己の判断は控え目に

シェークスピア

組合員消息

経営とは自分の信するところを進まなくては何も出来ない。しかし、猪突猛進では傷つくのは自分である謙虚な心で人の意見を聞き、己の人生の肥料とする事が大切である。

「自分を知る事は他人を知る事より難かしい」と老子は名言を残して居る。右か左か、大事な判断を要するときは第三者の意見は決してムダではない。自分の判断の資料とすべきである。

ゲーテ

ドイツの作家。代表作「若きヴェルテルの悩み」

セネカ

ローマの哲人。皇帝ネロの師となつたが、後不興をかつて隠退。遂に自決する。

シェークスピア

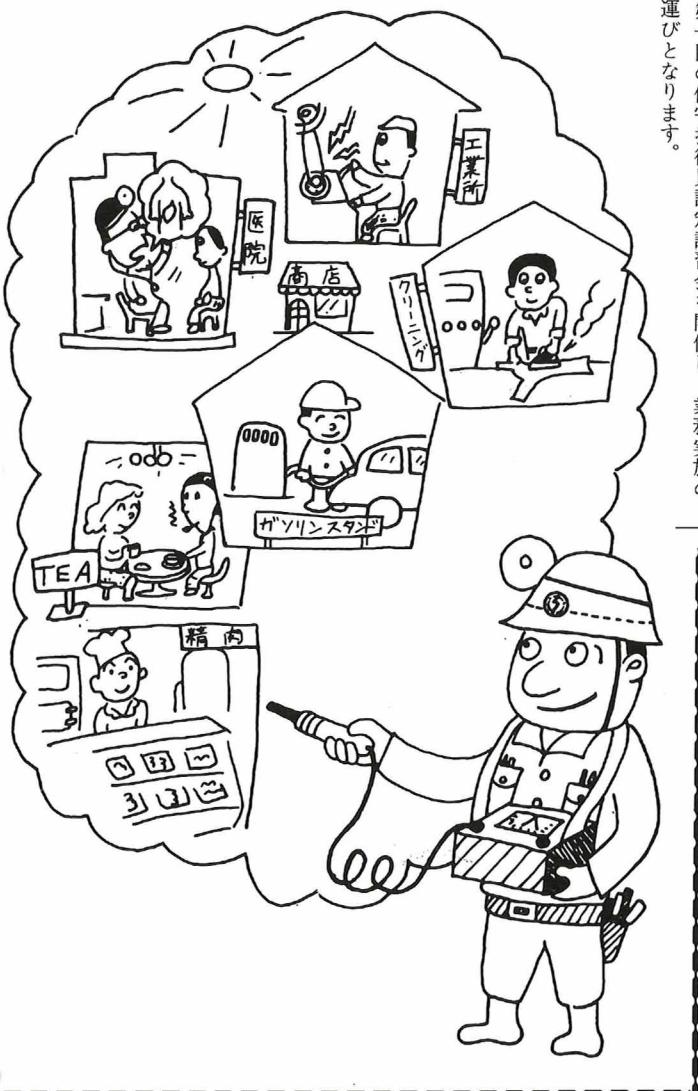
イギリスの劇作家。詩人。代表作「ハムレット」「ベニスの商人」「リア王」



進和電機(株)社長寒河江五朗氏は、かねて負傷入院中のところ、六月二十二日行年七十三才でご逝去されました。

ご冥福をお祈りし、謹んでお知らせいたします。

一、一月三〇日	(有)森電設社長森欣哉殿ご尊父 ご逝去
一、三月五日	高瀬電気商会代表者高瀬金四郎 殿ご母堂ご逝去
一、四月一〇日	日本電設工業(株)支店長太坊一郎 殿ご母堂ご逝去
一、四月一八日	熊谷電気工業従業員鳴海忠春殿 殉職
一、四月二七日	上ノ国電気工業所代表者川島勝 殿ご尊父ご逝去
一、六月九日	高瀬電気商会代表者高瀬金四郎 殿ご尊父ご逝去
一、六月二十五日	ハイヤ電気商会代表者平野秀巳 三郎殿ご尊父ご逝去
一、七月二七日	鶴北電工社長小林幸男殿ご母堂 ご逝去



去る二月、道工業組合総代会において採択された共同保守管理業務について、札幌通産局に承認法人の申請をしていたところ、五月十九日正式認可が下りました。

当組合では、七月十七日組合会議室において、再度説明会を開催し保守技術員の登録申込をとったところ六十社八十七名より申込みがありましたので、八月二十七日（組合会議室）、二十九日（八雲商工会）に、第一回の保守技術員認定講習会を開催し、業務実施の運びとなります。

共同保守管理業務

正式認可になる

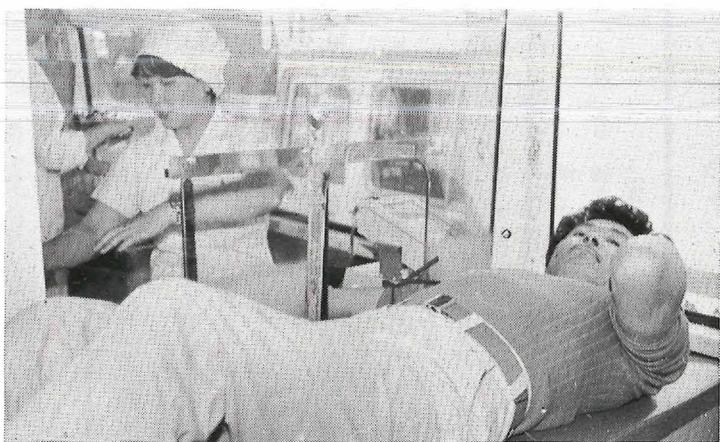
集団検診実施

60人が献血奉仕

五月七日午後二時半、当組合において昨年に引き続いて集団検診が実施され、検診車の到着と同時に、尿検査、体重・身長測定、視力検査、血圧測定、診察、胸部X線間接検査の七項目について、予定時間の二時間に亘って一一名が検診を受けました。

今年度は、血圧・尿糖の再検査を必要とする人が若干ありませんでしたが、治療・入院を必要とする人が一人もなかつたと云うことで安心しました。

なお、今回は函館赤十字血液センターの要請もあって献血をお願いしたところ、六十人が心よく応じてくれましたが、中には始めての検査で、今まで血液型を知らなかつたと云う人が何人か居りました。
連休明けで血液が不足気味の同センターでは、大変感謝して居り、献血された人に對しては血液型をはじめ諸検査の結果を直接通知してあります。血液型については組合事務局にも控えていますので、必要なときはお尋ね下さい。



全北海道電気工事技能競技大会及 当組合支部対抗技能競技大会観戦記

去る5月18日(月)に苫小牧市総合体育館に於いて、全北海道電気工事技能競技大会(第13回)が盛大に挙行された。これに先立ち、当組合では本大会の予選を兼ねた支部対抗技能競技大会が7月25日(日)に行われた。

◎第四回支部対抗技能競技大会

例年5月に行われる全道大会にそなえ、恒例の支部対抗兼全道大会予選競技大会は1月25日函館市訓練センターで行われた。

管内9支部のうち、中・八雲・福島の3支部は不参加で、あと6支部で少年組5名、青年組7名、壮年組は4名に事務局の越田君が特別参加して計17名が競技に参加した。

課題は各組とも、全道大会に出題される予定の苫小牧協組提示の課題を採用した。この課題は競技委員会で検討の際、少し難かしいのではないかとの意見が多く、金道大会の出題予定のものもあるので、出場選手には事前に特訓をして出場させる事として採用を決定した。又この課題の制限時間は3時間であるが、競技会前の特訓を行った結果3時間では無理であろうとの意見が多く、本大会に限って30分延長して3時間30分と決定して大会に臨んだ。

恒例によって課題は、少年組、青年・壮年組と2通りの設問で競技が開催された。芯出し、配管、ケーブル布線と工程が進むにつれて残り時間が縮まり、配線器具取付、電磁開閉器類取付、更に通線結線と進んだ頃には二、三の選手を除いて殆んど時間がなくなつて行った。このまゝ、予定時刻で打切ると大半の選手が、

時間切れ失格となる恐れが出たので、急ぎ協議の結果更に30分の時間延長を決定した。

にもかゝらず終了时刻に未完成の選手が9名も出た。直ちに審査に入つたが、形の上出来不出来よりも、心配されていた様に誤結線が6名も出て了つた。

本来誤結線は失格であるが、前々回の大会からは失格を免じ大巾減点で処置して来た経緯があり今回もその様に処理することとした。

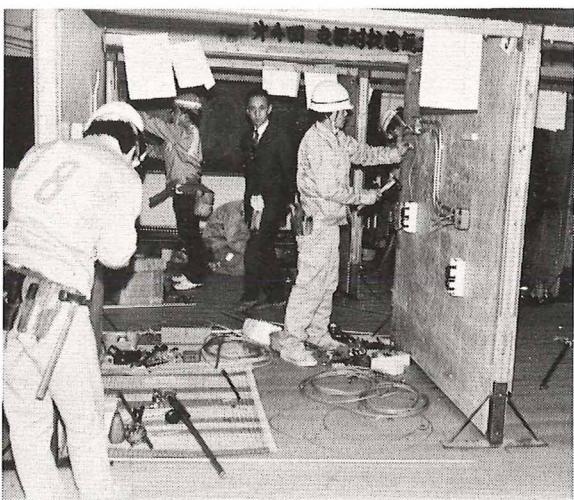
寸法、形状、施工処理、通電試験の後最終審査に入つたが、上位の得点差が少なく、甲論乙駁の後、各組の一位から三位までの順位をつけた。入賞者は別記の通りである。

表彰式後、競技委員長の北電函館営業所、金丸配電課長より講評をうけて、本大会は内部的にいろいろな問題を提起して曲りなりにも終了した。

本大会を終つて考へるに、毎回の事であるが支部対抗と称し乍ら全支部の協力が得られない事、又参加した支部も内部的には選手の募集には大変苦労をしている事があげられる。競技大会の問題自体マンネリ化している(但し今回の様に少しヒネッタ問題になると時間切れ等技能の低下が感じられるが)6尺四方の板でいくら技能を競つても実際の工事と実態から離れている等問題点は枚挙に暇はないが、実際に競技場に来て見学してみると、自体競技であるから人間の本能として競争心をあおられエスカレート気味になることを別にしても、6尺四方の板面で行う技術は限られた規模とは云え、ほゞ我々が日常行つてゐる工事の縮図と考えられないことはない。加うるに制限時間内に正確に完成させる才覚を養うには最も適当と考えられる。

この観点からみても技能競技大会の意義は、支部対

抗とか、全道組合対抗等にからみ合わさなくとも、大きく存在すると云ふ事に留意して爾今の競技大会には各支部は勿論の事、組合員各社の絶大な理解と協力を期待するものである。



支部対抗技能競技大会

入賞者

少年組

第1位	中野 誠	(有)本庄電気工業所	中渡島支部
第2位	川村 英雄	函館拓北電業(株)	東支
第3位	川渕 孝浩	日本電機保全(株)	東西支
"	紺野 仁	北邦電気(株)	北支

青年組

第1位	武藤 龍典	㈱吉浦電機商会	東支
第2位	中村 浩三	北邦電気(株)	支
第3位	塙井 秋義	㈱工藤電気商会	赤川支

壮年組

第1位	秋田 岩継	㈱松山電気工業	江差支
第2位	上戸 保	㈱松山電気工業	北支
第3位	工藤藤三郎	北邦電気(株)	部

昭和56年8月31日

い　な　づ　ま

◎第13回全北海道電気工事技能競技大会

全道11単協から参集した少年組12名、青年組14名、壮年組13名計39名の精銳選手は開会式のセレモニーのあと、午前9時競技開始となつた。

本大会の課題は当番組合である当地苦小牧協組の作成した課題で、内容的にも時間的にも問題の起きた課題である。現に我が組合でも1月の予選を兼ねた支部対抗競技大会でも予想通りの結果であった事にてらし、当組合としても出場選手には直前に特訓を行つて万全を期したことでもあり、その後苦小牧協組に於いて多少の手直しをしたもの、本筋に変更なく、他の協組でも本課題を採用しての競技大会を開いた結果の経緯もあつて、観戦する関係者はそれぞれに複雑な期待で眼下に繰り広げられる選手の一挙手一頭足に熱い視線を送つていた。

この会場の苦小牧市総合体育馆はつい二、三年前に竣工した近代的な広い体育馆で、本競技が行われている主競技場は三方に2階観覧席が設けられた理想的なフロアである。市営の性格上、部外の催しは日曜日を避けることになつており、本大会も月曜日の開催となつた由である。

本大会では運営上競技中の規律を厳守する意味から当番組合の運営責任に於いて、競技中のフロアには選手のほかは正副審査委員長と審査委員(各単協一名)しか入場出来ず、他の大会委員といえども入れないと云う規制が設けられたので、関係者は2階の観覧席でしか観戦出来なくなつた。従来であれば数メートルの距離で見学出来たものだが、観覧席からは近い處で約6米、遠い處は30米位の距離である。しかし遠目にも大半の選手の板上の器機配線の配置は整然と見え、甲乙はつけ難い、わずかに配管したサドルの取付け位置の良否等が判断の程度である。

2時間少し経った頃早くも終了した選手がいたが、他の選手は大体同じ位のペースで進み、遅れているとみられるものは三・四人位である。2時間30分を経過

すると更に終了者が増え、3時間の競技終了時には2名を残して終了した。我が組合選出の3選手も無事時間内に完了した。さすがに各単協とも少し難かしいのではないかと云われた課題ではあったが、選手の特訓にはそれぐ工夫をこらして行つた模様で、前日に行われた競技委員会で議論された。競技時間が少ないのでないかとの心配は全くの杞憂に終つた。

審査の結果、当組合の成績は少年組の中野誠君(本庄電気)が6位、青年組は武藤龍典君(吉浦電気)が5位、壮年組の秋田岩繼君(桧山電気)は惜くも誤結線で失格となつた。ともあれ各選手共、全道選出の優秀な選手達と競つて、善戦をしたと云う感じの本大会の成績であつた。

八雲支部『総会』開催される

四月十八日、八雲町落部のホテル銀婚湯において、支部組合員三二名と大倉理事長、坂本事務局長出席のもとに、第八回の八雲支部総会が開催されました。

後藤支部長の挨拶に次いで大倉理事長から組合の近況、今後の動向等を交えた挨拶があり、式次第による講長の選出については、光生電気商会の鈴木氏が選出されました。

第一号議案『昭和五十五年度事業報告について』は八雲支部全体の報告に次いで、八雲、森、北桧山各ブロックの順でそれぞれの活発な報告がされて承認されました。

第三号議案『昭和五十五年度決算報告について』は会計担当幹事(南松浪電気商会の松浪氏)より報告のあと会計監事(鰐谷電気商会の谷氏)より『監査の結果、適正なものと認める』との監査報告があつて可決承認されました。

第三号議案『昭和五十六年度事業計画案』、第四号議案『昭和五十六年度予算案』についてもそれぞれ説明のあと質疑に入りましたが、特別な異議もなく秋の

ソフトボール大会の開催を含め、諸事業ならびに予算が承認可欠されました。

鈴木氏の巧みな司会により、予定時刻より早く終了したので、懇親会の時間を繰りあげ美人ホステスのお酌によりカラオケ大会も一段と賑やかに、約二時間を行なった。

和氣あいあいに過ごし、翌日朝食のみに解散致しました。

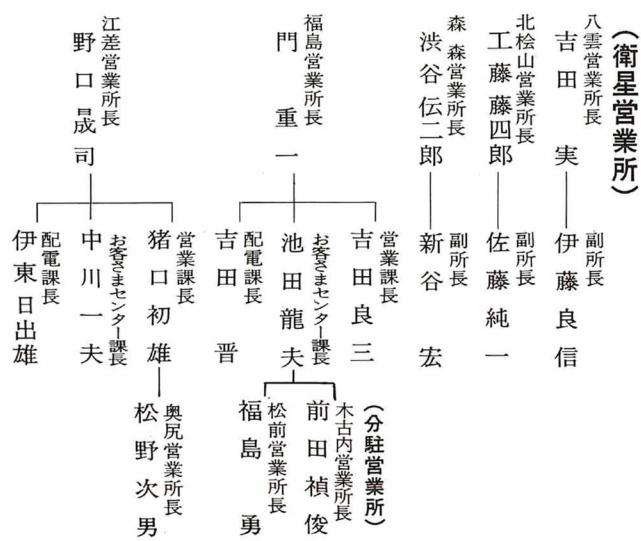
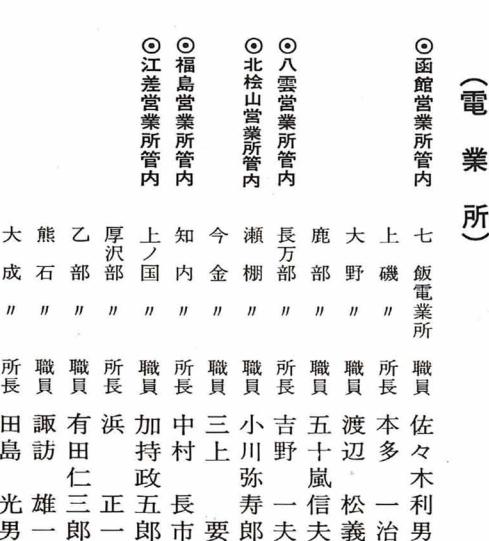
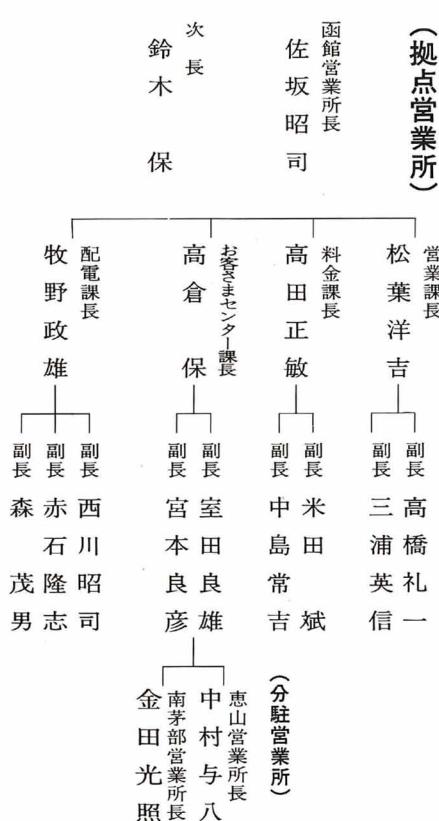


お知らせ

去る七月三十一日付をもって、事務局資材担当の佐藤勇職員は、一身上の都合により退職しました。佐藤職員は、北電を停年退職後、昭和四十四年四月以来約十二年間の在職でした。尚向後資材の受払業務は越田職員が担当しますので、よろしくお願ひします。

第三号議案『昭和五十六年度事業計画案』、第四号議案『昭和五十六年度予算案』についてもそれぞれ説明のあと質疑に入りましたが、特別な異議もなく秋の

北海道電力(株)函館支店管内組合関連組織図 (S 56.8.31)



○ 註 森営業所管内はなし。

あかるい明日を技術でひらく
あらゆる電設資材卸

東芝電器材株式会社 函館営業所

040

函館市大網町二十二番十四号
電話 函館四一一二二四一

吟味する

松下电工株式会社 函館営業所

函館市昭和町三九六の四
電話 函館四二一五八二二

工事材料・電化製品

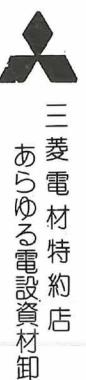
丸晃電気株式会社

函館市西桔梗町五八九一四九
電話 四九一一三一三

全道随一の照明設備センター
電設機器資材の総合電機卸

大興電機株式会社

本社 営業所
札電函電函館市西桔梗町五七一〇七
幌電話市
幌千代才九一六二一三一
雲一町一十六二九一九
福一九一九四の一
島八三一



隆東電機株式会社

函館市西桔梗町五八九一〇八
電話 四九一六二二六

電設資材・機電総合卸

進和電機株式会社

040 函館市松川町三四一一三
電話 四二一六二二三

明日をひらく電設資材の総合卸商社

株式会社工三ヤ商店

函館市富岡町二丁目四一七
電話 四二一三〇一（代表）
本社・札幌支社・東京営業所・釧路出張所
苦小牧

電気工事材料
音響通信機器
総合商社

石垣電材株式会社

本社 支店
函館営業所
函電函電函館市中央区北六条西二三丁目
（〇二三八）市新中野町二丁目二二一九二二一
島町一四一四二三三番地
五五二一四一六番
一二一五七番地
五五二一四一六番地
一二一五七番地
五五二一四一六番地
一二一五七番地
五五二一四一六番地
一二一五七番地